
うんことアホとおっさん

天神千尋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

うんことアホとおっさん

【Nコード】

N8660S

【作者名】

天神千尋

【あらすじ】

4人のおっさんが学生時代に食らったアホなトラブル集。

タイトルに無駄にうんこがついているわけじゃないんだからねっ！

小説力キコで書くもなかず飛ばすので、転載してみるテスト。

一人目 近森守男の場合（前書き）

なんだか色々な突っ込みはとりあえずおいておきましょう　ねっ
！ねー！ねー！

いや、グロじゃないです、すかちよろおむあにあーな感じでもないので、ご安心を。

かといって剣も魔法も出てきません、拳匂わたくしの周りでは絶滅危惧種に認定されている『女性』はほとんど出てきませんので、どうぞ不安を抱えてください。

まず登場するのは4人のおっさん。

そろいもそろって不治の病『モテない』を相当こじらせた4人である。現在は3人が最高級居酒屋ワタミにて数杯目のビールや熱燗なように思い思いのアルコールを胃に流し込みながら、とろけるチーズの様にテーブルに突っ伏している。吸いさしのタバコが灰皿でもくもく煙をあげているのにも関わらず、新たに火をつけるくらいには酔っているが、かろうじて上半身を地面に対して60度くらいに保っているくらいに酩酊っぷりである。

とりあえず、酩酊しているおっさんをいつまでも描写していても建設的ではないので、それぞれ紹介していきたいと思う。

4人とも一癖も二癖もある人間なので、「冗長ぎみではあるがそれぞれの過去のエピソードを含めて紹介していきたい。

一人目 近森守男の場合

近森守男の紹介

わたくしともっとも古くからの付き合いである。あだ名はデカ森、もしくはモリワキ。ただし本人はモリワキというあだ名を嫌っている。何故かと言うとその由来にある。

近森守男

ちかもりもりお

もりもり

夢がMORIMORI

森脇健二

という30代後半しか、もはや記憶にないSMAPが登場する番組が由来なのである。名付け親の俺としては非常に難解なアナグラムであると気に入っていたのだが、当の本人は森脇健二が嫌いなようで未だにモリワキ!と呼ぶとぶん殴られる。

モリワキとの付き合いは遡ると小学生時分に通った塾での思い出に行き着く。

モリワキは小さい頃から非常にでかく、30を過ぎた今では身長190、体重0.13tという巨漢である。デブよりも、でかいという言葉がよく似合う。運動神経は抜群でデカいので運動部からの誘

いをよく受けていたが、走るのが嫌いという理由で運動部に所属していたことはなかった。

で、話を戻して塾での出来事である。

我々が通っていた塾は、近所でも有名な進学塾で元旦ともなれば、合格するぞーと鉢巻をして掛け声をあげちゃうような塾だった。どれだけスパルタかという俺が、塾通いが嫌になって塾通い回避方法としてない知恵を振り絞った結果、授業中に嘔吐した際、そこにいたK先生、通称『大魔神』が一言

吐こうと思うから吐くんだ！吐かないと思え

もはや根性論を超えて軟禁に近い状態で毎日授業という名の刑罰を受けていた。ちなみにこの糞大魔神（何か挟まりましたが気になさらず）聞くとボクシングの大学チャンピオンでもって、オリンピック候補というつわもので、漢字の書き取りテスト中、暇をもてあますと教卓の後ろでシャドーボクシングをするという非常にありがたいプレッシャーのかけ方をする方でした。

もちろん、一定の点数に満たないと、左のほっぺたに（本人曰く）軽めのフックという素敵なプレゼントを賜うことは言うまでもありません。

そんな大魔神の授業中。モリワキが隣の席でうつらうつらし始めた。もちろん常時怒り顔の大魔神、つかつかとモリワキの両のみみ上げをむんずと掴み、そのまま・・・持ち上げた。ネックハンギングツリーというプロレス技があるが、これはもみあげハンギングツリーである。

大魔神の「目が覚めたか？」と言う質問に

ハイ×100の返事で返答をして何とか着陸したモリワキ、いつもの光景ではあるがその日はそれでは終わらなかった。

目が覚めたが退屈なのか、盛大に鼻くそをほじり始めたモリワキ。彼の辞書には反省と言う文字は無さそうだな、と思いながら横目で見ていると、先ほどの「うつらうつら」と「鼻くそほじり」「二つのスキルを同時に発動しはじめた。さすがにこれ以上大魔神の逆鱗に触れるとこちらにも被害が及ぶ。揺り動かして何とか起こそうと試みる。

おい！

おい！おいっ！！

おい！！

半ばあきらめて、前を見ると黒板に書き込んでいる大魔神の背中が明らかに怒っている。うわっちゃー！ーえらいこっちゃー！ー。

と突然、モリワキ覚醒。

ゴブツ！

という、不思議な悲鳴と共に第二間接まで指を鼻にねじ込む。そして、流血。すると今度はくしゃみが出たのか、大口を開け始めた。大魔神がちー！ーかー！ーもー！ーりー！ーと振り返ると同時にモリワキ

ばっくじょー！ー！！

と小学生にもかかわらずおっさんの様なくしゃみを噴射。振り返った大魔神の顔面に赤い鼻水直撃。

今風に言えば『ぱっじえろ！ぱっじえろ！』状態。ど真ん中にヒット。それを見てモリワキ

ストロベリージャム！！と言いながら、大爆笑

その後の惨劇は皆さんの想像にお任せします。

近森の場合 残念ながら続きます。

一人目 近森守男の場合2

そんな暗黒時代をお互い共有し、仲良しこよしになったかと言えばそうではなく塾と学校では微妙にコミュニティが異なったのと併せて、私立中学受験組とそうでは無い組に別れ別れとなり、自然とお互いの関係も疎遠になっていった。

ここで少々自分の話。

俺は私立中学受験組。当の本人は受験というか記憶をするだけという試験勉強そのものにほとほと嫌気が差し受験をやめたい旨を母親に直訴するも、今まで塾に支払った料金明細と近所に住んでいる優等生を引き合いに強固に反対・・・というか半狂乱になった母親を止めることも説得することもできずに、やる気のない心と体でずると塾に通っていた。

いよいよ試験当日、初めての受験に緊張の面持ちで席に座っていると試験官の腕章をした、おそらく在校生が緊張を解きほぐそうと、手品を披露してくれた。

受験生は、当たり前の事だが全員小学6年生、初めて目の前で見事な手際の手品に「おおおお！」と感嘆の声が挙がった。そこに試験用紙の束を持ったひげ面の先生が入ってくるなり

「試験中にそんなくだらしないことしていいと誰が言った！」

と試験官の在校生をぶん殴った。それを見て、

「よし！私立中学に行くのは辞めよう！」

と心に誓い、そこからの受験は全て白紙答案で終えた。ところが、ここで問題がひとつ。

当時私立中学を受験する人間は全学年に多くても5〜6人しかいない。そこそこ珍しいことだった。小5から塾に通っている人間は漏れなく頭が良いと勘違いをしてくださっているため、受験に落ちるなんて想定はまったくしていない。拳句に学校内では比較的孤独．．．あーえーっと、すみません嘘つきました。比較的どこるか友達と呼べる人間はほとんどいなくて休み時間のほとんどを図書館で過ごし、海外物のSFをひたすら読むという暗すぎる人間でした。

そこに、当時の学校の先生が気を使ってか三学期に「さよなら会」なるものを催しするさらには、俺宛のさよなら文集なるものを作成するとうまくなく空気の読めない催し物を企画しているというじやありませんか。断固反対の意思を示すも「照れるなよー」というまったく別ベクトルの返事をいただき催されることとなった。

まったく心のこもっていない、

「別の学校でも元気だね！」

というテンプレ挨拶に、

「いや来年の4月にまた会うけどなっ！」

という言葉がグっとのみこんで、ハイという返答をした時、大人の階段を登った気がしたもんです。

そんなTHE腫れ物が、楽しい中学ライフが待っているかというと

まったくそんなわけがなく、学校内でも比較的アクティブなグループにいたモリワキとは自然と距離を置くようになったのです。

余談に余談を重ねますが、さよなら文集を受け取ってまっさきに、当時好きだった女子のページを開くと原稿用紙の右半分に

「がんばれ」

の四文字

左半分には、

スノーピーっぽい犬が書き殴られており、まあそっくだよなあとため息混じりに天井を見上げたことは内緒です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8660s/>

うんことアホとおっさん

2011年10月9日01時44分発行